

前期中間考査を終えて～その意義を確認せよ！～

さて、と…終わりましたね～最初の考査。今年から前・後期ともに2回ずつ、通常のパターンでの実施となりました。出来はどうだったでしょうか。結果は神のみぞ知る？い～え、本人が一番よくわかってるはず！

①年生にとっては高校最初の考査でもあり、多くの方にとって中学時代とは違った結果になることが予想されます。計画通りに点を取れた人もいれば、順位を見て落ち込む人も大勢いることでしょう。が、肝心なのは校内における他者との比較ではなく、自分が求めるレベルを達成したかどうか。日々、進路実現のために必要な力をつけるために努力を重ね、考査や模試をそのバロメーターとする姿勢が大切です。今回の考査はその第1回。落ち込んでいる暇はありません。今後、進路実現のために自分に求められるレベルを確認し、そのためにテストを有効活用してください。

②年生はそういったことをすでに意識して臨んだはず。③年生にいたっては、前期の成績が一般入試はもとより、さまざまな形態の入試に関わる最終成績になることも頭に入っているはず。

大学入試や進路実現の準備と努力は、高校入学直後、いやその前から始まっています。テストのたびに一喜一憂して終わるのではなく、反省と改善を繰り返し、これから先の人生を見据えて努力を継続してください。



進路選択を意識しながら日々過ごすのススメ



考査前には面接週間がありました。HRT とどんな話をしたのでしょうか？これからのステップになるような成果はありましたか？悩み解決の糸口はつかめましたか？この時期を過ごすのにみなさんに必要なのは…

★★★ 3年生は ★★★

- 進路選択と実現に向けて前進！！部活動も引退し、**シフトチェンジ**を余儀なくされる時期。前期中間考査も終わり、1か月後には夏休み、9月には前期終了とあっという間に時間は過ぎていきます。自分を甘やかさず、厳しい姿勢を貫きましょう。山の向こうの何十万人が、今、どんな意識でいるのか・・・あなたはのんきすぎませんか？
- 「大人になること」と「入試」**
みなさんは、自分自身に関わる進路や入試のことを家族にしっかり説明できているのでしょうか？「進路のことは自分に任されているから、ただ勉強さえすればいい」と子供じみた甘えに浸っていませんか？進路実現には、経済的なことも含めて、当然、家族の援助が必要です。みなさん自身が、**自分の選択に、責任ある姿勢と感謝の気持ちを持って臨まなければなりません**。出願の際の手続きや費用の払い込みなど、これから社会に出る訓練の場にもなります。**受験を通じて「大人になる」ことを一つの目標としてください**。
- 6月マーク模試は7月記述とドッキング**です。得点率アップを目指してしっかり反省。入学当初から受けてきたテスト問題はやり直しましたか？復習もせずに結果だけを求めてもダメですよ。

★★ 2年生は ★★

- 目標や方法の具体化**に、積極的に取り組んでください。日々の学習や家庭生活、部活動や生徒会などの活動の中で、さまざまな分野に関心を広げ、**進路を考える上での選択肢を増やしましょう**。大学等についても、探究の時間などを通じて調べていることと思いますが、たとえ目標がおおざっぱであっても、日常的に考え行動する習慣があれば、やがて決断を下すときの大きな支えになります。
- 3年生が部活動などから引退し、2年生が主役となる時期が来ています。**さまざまな普通活動**を通じて、心と身体両面でたくましい会高生になることを期待しています。
- 言うまでもなく絶対的基礎力をつけるには、2年生が大きなターニングポイント。**勉強！**

★ 1年生は ★

- 高校生活のリズムは確立できてますか？中間考査は終わりましたが、7月初めには最初の全国模試。夏休み明けの9月には期末考査があります。学習のその他の活動のバランス、時間配分を自らの責任で築き上げましょう。
- そして、来年に向けて文理選択についてしっかり理解し、前向きな選択をしてください。「自分を知る。受験を知る。社会を知る。」といった活動の中で、方向性を探ること。「数学ができないから文系」じゃなかったよね!?

社会に貢献できる「お・と・な」になろう！

一度だけの人生を人間らしく生きるために…世界の平和と人類の幸福に貢献するために…よりよい進路を考えその実現のために努力することは、地球号の乗組員である私たち一人一人に課せられた義務です。さて、地球号(特に日本号)の現在はどうでしょう？そして未来は？

—おやおや、残念ながら意識の低い人がいるようです。

×何の抵抗もできない幼い子供に声をかけて命を奪う。 ×「しつけ」と称して、子供を虐待する。

×体の自由がきかない人、認知症の老人などを相手に詐欺をはたらく。

×自分がミスをしたにもかかわらず、保身のために嘘をつらめく。

×置かれた立場や環境を周囲のせいにして、努力しようとしぬ。

×若者の将来を考えようとせず、自分さえいい暮らしができればいいと思っている。

×「教える」ことができない。 ×面と向かっては言わず、陰でこそこそ言う。

×「いつまでも子供でいたい」と本気で思っている。 ×責任を人に押しつける。



いまや成人は18歳

高校生、成人間近(一部はもう成人)のみなさんから、今の社会はどう映っているのでしょうか。ひょっとして、しっかり家族に守られて世の中の変化に全く気づいていない、周りなんて興味ない、なんてことはありませんか。自分の未来、生き方と地球号の関係は意識してますか——

上述のように、これだけ大人の顔をした子供がたくさんいる中で、みなさん自身が大人になっていくのは容易なことではないでしょう。大人は本来、子供の将来を少しでも明るく夢のあるものにしようと努力するための存在のはずですから、それに反する大人(子供)たちの急増は、みなさんの未来にとって大きな障害になることは否定できません。

ただ、どんな世の中でも、そういった存在はゼロではないし、多くの先人たちがそれを克服しようとさまざまな努力を積み重ね、社会全体を大人にしようと(成熟させようと)心血を注いできたのも事実。だから今の世の中だってあきらめてはダメ。なんとかしなければならぬのです！

—とは言っても、みなさんはまだまだ自分のことで頭がいっぱいでしょう。他の人や世の中のことを考える余裕などない人も多いでしょう。若いのだから失敗する場面もたくさんあっていいし、好きなことに夢中になる時間も必要だよ。お金の無駄遣いだって、すべて否定されるものではないはず。そういうことが若さの象徴と広く認められた時代もあったしね… **と、こんなおとなの話題を、家族や友人、先生と話すことはありますか？**

ぜひ、話す時間をつくってください、地球号と乗客の将来のために

今年度版『学而の決意』刊行間近！

会津高校生のバイブルとも言える『学而の決意』がもうすぐ届きます。概要は・・・

前半は、令和5年度入試の総括と全国の入試概況、そして大学進学に対する考え方・対策の基本が書いてあります。進路希望実現に向けての心構えもよく読んでください。

後半は先輩の「合格体験記」！会津高校の先輩は、卒業後も、後輩のため協力を惜しみません。「合格体験を聞く会」の講師を引き受けてくれるばかりでなく、『学而の決意』では自らの経験を文字に残してくれているのです。それが「合格体験記」です。勉強法や部活動、その他様々な先輩達の苦労や成功例を参考にさせてもらいましょう。

せっかくもらった貴重な資料を、その辺に転がしておくような人間はみなさんの中にはいないはず。先輩達の血と汗と涙の結晶の詰まった『学而の決意』を大切に活用してください。

『学而の決意』は、会高生の“Bible”だ!!!

